

令和5年4月1日

九州学生ソフトテニス連盟
加盟大学・加盟学生 各位

九州学生ソフトテニス連盟
会長 大 鷲 吉 松

大会等における適切な審判の遂行について（通知）

拝啓 陽春の候、各加盟大学におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より九州学生ソフトテニス連盟に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度の九州学生ソフトテニス連盟をはじめ各種連盟等主催の大会が始まりました。九州学生ソフトテニス連盟としまして、令和4年度天皇杯全日本総合ソフトテニス選手権大会において本連盟加盟者の不適切な審判があり、各方面から指摘及び指導を受けた下記事例に対し、試合におけるルール・マナーの徹底に加え、適切な審判の遂行の徹底へ取り組むことといたします。

つきましては、各加盟大学において本件を情報共有するとともに、普段からプレーだけでなく審判についても知識・技能の向上に努めていただきますよう要請いたします。

ルール・マナー及び適切な審判遂行により、九州学生ソフトテニス連盟主催大会が参加選手はもとより、大会会場の関係者、応援や観戦に来られる方々にとっても円滑で清々しく実施され、また様々な大会において本連盟所属選手の模範となる行動により本連盟の発展に繋がるよう皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

敬具

記

令和4年度天皇杯全日本総合ソフトテニス選手権大会における本連盟加盟者の不適切な審判事例

時期：令和4年10月21日～23日

会場：香川県総合運動公園テニス場

事案：九州学生ソフトテニス連盟加盟選手が審判を行う際、副審の審判遂行に著しい不誠実な行動等（曖昧なジャッジ、サービスラインの延長線上から動かないなど）が見られた。

この試合動画がインターネットに公開され、日本連盟、日本学連他から九州学生ソフトテニス連盟に対して、多くの指摘、指導が寄せられた。

以上